

令和7年度一番茶萌芽・生育状況

京都府農林水産技術センター
農林センター 茶業研究所

1. 萌芽期

仕立て法	2025年	2024年	前5か年平均	平年
自然仕立て	4月7日	4月6日	4月4日	4月7日
弧状仕立て	4月7日	4月6日	4月5日	4月8日

○平年は、平成6年～令和6年までの31年間の平均値

2. 生育状況

(自然仕立て)

項目	年次	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日	4月30日	5月5日
新芽長 (cm)	本年	-	0.9	2.5	5.7	8.7	-
	前年	-	2.2	6.3	10.9	16.3	-
	前5か年平均	-	2.8	5.5	9.4	12.8	-
	平年	-	1.7	3.1	5.9	8.4	-
新葉数 (枚)	本年	-	0.3	1.3	2.3	3.2	-
	前年	-	1.2	2.2	3.1	4.0	-
	前5か年平均	-	1.5	2.3	3.2	3.9	-
	平年	-	0.8	1.5	2.4	3.1	-

(弧状仕立て)

項目	年次	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日	4月30日	5月5日
新芽長 (cm)	本年	-	0.6	1.6	3.4	4.7	-
	前年	-	1.8	4.6	7.5	10.4	-
	前5か年平均	-	1.9	3.7	6.1	7.7	-
	平年	0.8	1.2	2.1	3.7	5.3	6.6
新葉数 (枚)	本年	-	0.3	1.3	2.1	3.0	-
	前年	-	0.9	2.0	2.9	3.8	-
	前5か年平均	-	1.2	2.1	2.8	3.6	-
	平年	0.4	0.7	1.3	1.9	2.6	3.2

○平年は、平成6年～令和6年までの31年間の平均値

3. 気象概況（令和7年1月～5月上旬）

項目・ 年次 月・旬		最高気温（℃）			最低気温（℃）			平均気温（℃）		
		2025年	2024年	平年	2025年	2024年	平年	2025年	2024年	平年
1月	上旬	8.9	10.2	9.2	-1.5	-1.2	-0.6	3.1	4.2	3.8
	中旬	9.9	9.1	8.9	-1.1	0.2	-0.7	3.5	4.3	3.6
	下旬	10.6	8.9	8.4	-0.9	0.1	-0.8	4.0	4.0	3.3
	月平均	9.8	9.4	8.8	-1.2	-0.3	-0.7	3.5	4.2	3.6
2月	上旬	7.6	9.3	9.0	-2.3	-0.7	-1.1	2.0	3.8	3.4
	中旬	8.9	14.6	9.9	-1.9	3.5	-0.4	3.0	8.6	4.3
	下旬	10.9	9.2	11.3	-0.5	1.3	0.1	4.7	4.9	5.4
	月平均	8.9	11.1	10.0	-1.7	1.4	-0.5	3.0	5.8	4.3
3月	上旬	11.2	10.2	12.4	1.4	0.5	1.2	6.0	4.8	6.4
	中旬	13.0	13.6	14.5	1.0	0.0	1.6	6.6	6.8	7.8
	下旬	19.6	14.4	15.6	5.7	4.5	3.0	12.0	9.2	9.0
	月平均	14.6	12.9	14.2	2.7	1.8	2.0	8.2	7.1	7.8
4月	上旬	19.7	19.5	18.4	5.2	7.2	4.9	11.8	13.5	11.4
	中旬	22.9	24.4	20.4	8.6	9.7	7.2	15.1	16.2	13.5
	下旬	22.0	22.8	22.0	7.8	13.9	8.8	14.5	17.6	15.0
	月平均	21.7	22.2	20.3	6.9	10.1	7.0	13.8	15.7	13.3
5月	上旬	22.8	23.4	24.4	9.2	10.2	11.0	15.9	16.1	17.3

項目・ 年次 月・旬		湿度（％）			降水量（mm）			降水日数（日）		
		2025年	2024年	平年	2025年	2024年	平年	2025年	2024年	平年
1月	上旬	72.0	82.4	79.5	7.0	4.0	11.7	1	2	1.5
	中旬	76.7	79.2	79.8	1.5	7.0	15.8	1	2	1.7
	下旬	72.9	76.6	79.5	0.0	17.5	22.4	0	1	2.4
2月	上旬	70.2	80.5	78.2	7.5	21.0	15.3	3	2	1.9
	中旬	76.2	80.6	78.6	3.0	18.0	25.2	1	3	2.4
	下旬	75.2	85.7	77.7	1.5	39.0	28.3	1	5	2.2
3月	上旬	84.0	72.3	76.7	28.5	23.0	31.2	4	2	2.9
	中旬	78.1	70.7	74.8	14.5	36.0	34.3	3	3	2.9
	下旬	63.2	80.4	73.9	22.0	101.0	38.0	1	5	3.4
4月	上旬	68.6	72.5	71.6	7.5	95.5	40.6	2	5	2.9
	中旬	73.8	63.6	72.7	12.0	12.0	39.9	3	2	3.4
	下旬	68.1	83.5	73.5	21.0	43.5	35.2	3	5	3.2
5月	上旬	71.4	71.2	73.2	69.0	31.5	40.0	4	3	3.1

注) 降水日数は、1mm以上の降雨のあった日数

(参考) 終霜日と最低極温

項目	2025年	2024年
終霜日	3月20日	3月28日
最低極温	-5.0℃(2月7日)	-3.7℃(3月14日、17日)

4. 供試茶園の条件

- (1) 供試品種：やぶきた
- (2) 栽植年次：平成21年3月(自然仕立て、弧状仕立て 16年生)
- (3) 栽植密度：180cm×40cm、単条植え
- (4) 仕立て法：自然仕立て(手摘み)、弧状仕立て(機械摘み)
- (5) 樹高：59cm(弧状仕立て)
- (6) 株張り：150cm(弧状仕立て)
- (7) 施肥量：N-P-K 56kg-16kg-14kg
- (8) 防霜施設：防霜ファン

5. 概要

(1) 気象条件

本年の平均気温は、1月は平年並に推移し(平年差：-0.1℃)、2月は平年と比べ低く推移した(平年差：-1.3℃)。その後、3月は平年と比べやや高く推移し(平年差：+0.4℃)、4月は平年と比べ高く推移した(平年差：4月+0.5℃)。

3月から4月の降水量は平年より少なく経過した(平年比：3月63%、4月35%)。

(2) 萌芽・生育状況

3月の平均気温は平年よりやや高く推移し、本年の自然仕立ての一番茶萌芽期は、平年並の4月7日となった。弧状仕立ては、平年より1日早い4月7日に萌芽期に達した。

4月30日時点の生育は、自然仕立てでは新芽長8.7cm、新葉数3.2枚、弧状仕立てでは新芽長4.7cm、新葉数3.0枚になった。萌芽期以降の平均気温は平年よりやや高く推移したが、降水量が少なく、前5か年と比べると新芽長の生育が緩慢となった。

令和7年度一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター
農林センター 茶業研究所

1. 摘採日

仕立て法	2025年	2024年	前5か年平均	平年
自然仕立て	5月3日	5月4日	5月3日	5月6日
弧状仕立て	5月3日	5月2日	5月2日	5月5日

○平年は、平成6年～令和6年までの31年間の平均値

2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	2025年		2024年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	457.7 ± 67.8	64	831.0 ± 145.0	117	713.0 ± 122.8	100
弧状仕立て	238.2 ± 20.2	85	468.9 ± 114.2	167	280.0 ± 112.1	100

○指数は前5か年平均を100とした場合の比

3. 百芽重 (g)

仕立て法	2025年		2024年		前5か年平均	
	百芽重	指数	百芽重	指数	百芽重	指数
自然仕立て	40.0 ± 8.1	63	71.6 ± 3.7	114	63.0 ± 5.3	100
弧状仕立て	34.5 ± 10.4	64	— ± —	—	54.0 ± 12.4	100

○前年の弧状仕立てのデータは欠測

○指数は前5か年平均を100とした場合の比

(ただし、弧状仕立てについては、前年を除く4か年平均)

4. 新芽数 (本/m²)

仕立て法	2025年		2024年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	507.0 ± 86.8	97	553.4 ± 68.0	106	521.0 ± 72.2	100
弧状仕立て	1003.3 ± 329.8	80	— ± —	—	1250.0 ± 485.3	100

○自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

○前年の弧状仕立てのデータは欠測

○指数は前5か年平均を100とした場合の比

(ただし、弧状仕立てについては、前年を除く4か年平均)

5. 出開き度 (%)

仕立て法	2025年	2024年	前5か年平均
自然仕立て	50.5	71.7	56.0
弧状仕立て	51.8	—	43.0

○前年の弧状仕立てのデータは欠測

6. 概要

(1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立てでは、前5か年平均と同じ5月3日となり、弧状仕立てでは、前5か年平均より1日遅い5月3日となった。

(2) 生葉収量

生葉収量は、自然仕立て、弧状仕立てともに前5か年平均と比べて少なかった(指数 自然仕立て:64、弧状仕立て:85)。少なかった要因としては、昨年度夏季の高温・寡雨により樹勢が低下し、分枝および芽数が減少したことや、萌芽期以降、特に4月後半までの降水量が少なかったことで、新芽の伸長が十分促されなかったことなどが考えられる。

(3) 病害虫の発生状況

当所におけるフェロモントラップによる越冬世代の誘殺状況は、チャノホソガの誘殺盛期は平年より遅く4月第4半旬(平年は3月第6半旬)であり、誘殺数は3月～5月第3半旬で平年より少なかった(平年比11%)。チャノコカクモンハマキの誘殺盛期は平年より遅く5月第3半旬(平年は5月第1半旬)であり、誘殺数は3月～5月第3半旬で平年より少なかった(平年比23.7%)。 ※平年は平成27年～令和6年までの10年間の平均値

(4) 茶市場の出荷状況

5月15日時点の全農京都茶市場への出荷量は、対前年度同回までの累計比で、てん茶が58%、揉み茶が51%となっている。

はさみ摘みてん茶 : 59%

手摘み玉露 : 63% はさみ摘み玉露 : 32%

煎茶 : 58% かぶせ茶 : 77%